



Leading Edge



Greeting

Japan Airboat Association は 2013 年 12 月に発足した新しい団体です。日本ではまだ馴染みの浅いエアボートを適所に普及させるべく、様々な活動を行っています。

2014 年春、JAA の創設にあたり、初めての季節報を発行いたします。季節報では、JAA の活動報告と共に、エアボートに関する知識や注意点などを記していきますので、ぜひご一読いただければと思います。本報では、JAA の役員紹介と、3 月に行った JAA 初のイベント「JAA BBQ @お台場潮風公園」についてご報告いたします。

Contents

1. 会長挨拶
2. 協会の目的
3. 役員紹介
4. 活動報告
5. JAA BBQ @お台場潮風公園の報告
6. Airboat Tips
7. 今後の予定

1. 会長挨拶

関東はようやく日差しの暖かさを感じられる季節になってきました。今冬は東京でも積雪が多く、改めて自然の力に圧倒される季節でした。今後も同様の自然災害が懸念されていますが、自然は災害だけでなく多くの学びや癒やしも人々に与えてくれます。JAA は、そのような自然と向き合い、自然を感じることの架け橋になれるような活動を行っていきたいと思っております。

2. 協会の目的

Japan Airboat Association は「日本国内におけるエアボートの普及や安全管理」を目的として活動を行っています。また、この目的を達成するために以下の 5 項目を柱に活動していきます。

Popularization: 各種イベントの実施

Safety: 航行マナー講習、整備講習の実施

Leisure: レジャー用エアボートの提案

Rescue: 救助用エアボートの提案

Volunteer: エアボートによる地域貢献、災害時の救助活動の実施

3. 役員紹介

以下、皆様へのご挨拶を掲載いたします。

会長: 鈴木 信行

本協会設立にあたり縁あって“初代会長”を努めさせて頂く事になりました。「エアボート？」現在日本国内に於いてはまだ聞き慣れない名称であり今までその性能や形状等を公開する機会もございませんでしたが、私共 JAA の発足に至っては、さる国産メーカー様のご協力や協会趣旨にご賛同頂いた皆様のご支援などをもちまして、正に船出をした所であります。将来的な展望を申せばキリがありませんが、先ずは様々な屋外イベントを中心に皆様とふれあい、その際には実際のエアボートを体感して頂くというような活動を以てこの素晴らしい船を皆さんにご紹介し、ご認識を深めて頂けたらと考えております。設立間もない団体ではございますが、引き続き会員の皆様やご賛同下さる方々のご指導、ご支援を賜りつつ微力ながらも協会発展の為に頑張って参ります。

副会長: 村石 秀紀

JAA 副会長の村石 秀紀(40)です。

今春から活動を始めるにあたり、とにかく多くの人に「エアボート」の存在を知って頂きたいと思っています。

まずその一つとしてイベント（デモンストレーション）を開き JAA 会員様の知り合いなどを通して認知度 UP できるように頑張って行きたいと思っています。

まだ、走り始めたばかりの私達ですが皆様からのご意見・ご感想などいろいろお聞きして頑張って行きたいと思っていますので宜しくお願い致します。

事務局長: 林 洋司

はじめまして！JAA でイベントの企画や運営を行っている林と申します。エアボートとの出会いは昨年の 6 月にさかのぼりますが、今の今までエアボートのことを考えなかった日はほとんどありません。日本でエアボートと聞いてもピンとこない方が多いと思いますが、様々な特徴を備えた魅力的な船です。しかし、これまでほとんど使われてこなかった事実がありますので、ただありますよ！ということだけでなく、どこでどのように使うとメリットがあるかご提案できればと思います。

先日、JAA の仲間と一緒に小型船舶操縦免許を取得し、エアボートをはじめ小型船舶全般の操縦ができるようになりました！しかし、泳ぐことができないため、次はスイミングスクールに通おうかと悩んでおります...。笑 そんなこんなで、救助やレジャーにエアボートが活躍できる環境を整えるため、精一杯頑張りますので宜しくお願いいいたします。

広報部長：細谷 知広

JAAは2013年12月に発足いたしました。今まで日本国内ではほとんど知られていなかったエアポートの素晴らしさを、本協会を通して日本中の皆様にどんどんお伝え出来ればと思っております。

また日本国内に限らず、エアポートが盛んな国の関連情報発信や、実際にエアポートの素晴らしさを体験出来る楽しいイベントも開催したいと思っております。

JAAのHPをご覧頂ければエアポートがどのような船なのかお分かりいただけると思いますが、やはり実物を見てその利便性、迫力、かっこ良さを感じて下さい。

皆様とお会いできる事を楽しみにしております。

4. 活動報告

昨年末にJAAの設立記念会を行い、その後ホームページやFacebookを用いて多くの方々にエアポートのこと、JAAのことをお知りいただく土台を築き上げました。3月にはそれらのツールを用いて告知を行い、BBQパーティーを開催することができました。

- JAA 設立記念会（2013年12月7日）
- JAA HP 開設（1月）
- JAA FB ページ開設（1月）
- JAA BBQ@お台場（3月22日）

5. JAA BBQ@お台場潮風公園の報告

3月の終盤に、季節を少し先取りしてBBQパーティーを開催しました。目的はもちろんエアポートの迫力を体感していただくことであり、構想の段階から生でエアポートを見る

ことができる会場を探しました。理想的にはエアポートの良さが生きる湖川で開催したかったのですが、交通の便などを考慮し、お台場の潮風公園で開催しました。参加者はホームページやFacebook、人づてに募り、予想を上回る37名（会員9名）の方々にお越しいただきました。

当日は天候にも恵まれ、波浪の影響も少ないうままずのコンディションでした。エアポートの実機は、日本国内でエアポートの製造販売を行っている株式会社フレッシュエアーの佐々木甲さん（JAA会員）に出ていただき、操縦もお任せしました。エアポートは船底が平らなため波は苦手なのですが、佐々木さんは東京湾でも操縦経験があり、写真のように大迫力の走行を見せてくれました。

マリーナが近くになかったため、実演時間は20分程度だったのですが、エアポートが到着した際には参加者の方々から大きな歓声が上がりました。参加者の皆様には、エアポートの持つ可能性を肌で感じていただけたのではないかと思います。その他の時間はBBQを楽しみながら親睦を深めていただき、JAAの目的や活動内容も紹介させていただきました。



水しぶきを上げて滑走するエアポート



BBQ の後にみんなで記念撮影 !!

6. Airboat Tips

これから少しずつエアボートについての話題を皆さんにお話ししていきたいと思います。さて、初回はエアボートの歴史からお話しします。

世界で最初のエアボートは様々なエンジンとプロペラの特性を研究するために1905年にカナダで製造されました。なんとそれを作ったのは、電話の発明で有名なグラハム・ベルと彼の助手であったグレン・カーチス（航空機メーカー"カーチス・ライト社"の創設者）でした。

1920年半ばには、フリーボトムクラフト（当時の名称）としてニューヨークボートショーで展示され、1930年頃になると手作りのエアボートがフロリダとルイジアナの湿地帯に出現し始めます。

1940年代にはユタ州でベア・リバー・バード保護区のスタッフ3名（レオ・ヤング、G.ジェンセン、セシル・ウィリアムズ）によって独自設計のエアボートが製作されます。彼らがエアボートを導入する前、生物学者達は浅瀬や沼の中を歩くか、長い棒を持ちながら平底の

ボートを押して研究するしかありませんでした。彼らはボートの両側に小さなパドルホイールが装着された「泥の女王」と呼ばれる船で研究していた様です。そこでヤング達3名は、99.50ドルで航空機エンジンを購入し、それを平底のボートに取り付け、「アリゲーターI」の愛称で呼ばれるエアボートを製作しました。この頃、ヤングによってエアボートと言う名前の先駆けである「エアスラストボート」という名前が付けられ、彼は世界中でボートを販売しました。

それから現在まで、様々な試行錯誤を経て、平らな船底、後部に設置されたエンジン、視認性を考慮した高いドライバー着座位置、プロペラを侵入物から保護すると共に乗員を保護するプロペラガードなど、今日使用されている基本的なエアボートの形が生み出されてきました。

7. 今後の予定

今後は JAA が拠点としている猪苗代湖や、エアボートに興味をお持ちの方が拠点としている浜名湖で試乗を交えたデモンストレーションを行い、エアボートを広く普及させていきます。

5月

猪苗代湖観察

浜名湖観察

6月

イベント開催（浜名湖）

7月

JAA 総会 2014 前期

8月

イベント開催（猪苗代湖）